

復興タイムラインに基づく確実な復興、市民の安全・安心を第一に、感染症対策と社会経済活動の両立をしっかりと支えていきます

- P3 施政方針
- P4~P7 主な事業
- P8~P9 一般会計、特別会計、公営企業会計当初予算

令和5年度 施政方針と予算、主な事業

施政方針

場から指導をいただきながら、より効果的な取り組みを進めることとするほか、SDGsの理念の下、子育て支援や地域の活性化をはじめ、ゼロカーボンシティへの取り組み、DXの推進、人々の多様性が尊重される社会の構築など、将来にわたり本市が「持続するまち」であり続けられるよう、一歩一歩着実にその取り組みをスタートさせたところでもあります。

そうした中、昨年8月3日からの大雨により、市内の観測地点で24時間降水量が観測史上最高を記録するなど、荒川地域、神林地域を中心に市内全域で大きな被害に見舞われました。一夜にして日常の生活が奪われ、今なお、37世帯、129人の方々に避難指示を継続せざるを得ず、被災者の皆さま、市民の皆さまに大変なご負担をおかけしております。これほど大きな災害にもかかわらず、一人の命も失うことなく避難行動を行っていただいたことは、日頃から、地域の皆さまの防災に対する取り組みの成果が表れたものであると、心より感謝申し上げますとともに敬服いたしましたことでもあります。

全国的に人口減少や少子高齢化が加速化し、本市においても人口減少が顕著に表れている中、人口減少を「問題」としてだけでなく「変化」として現実を受け止め、各自治体や関係機関と連携しながら、各種施策を講じているところであり、昨年度は、「あふれる笑顔のまち村上」を将来像に掲げ、第3次村上市総合計画をスタートさせました。

本市ではこれまで、人口減少対策についての取り組みを積極的に進めてきたところでありますが、このたび新潟大学の学術指導により、専門的な立

うな日常を取り戻すまでには、まだ時間がかかりますので、被災者に寄り添いながら、「復興タイムライン」に基づき確実に復興を成し遂げるための歩みを着実に進めてまいります。

他方、新型コロナウイルス感染症との闘いは、今年で4年目に突入しますが、これまでの闘いの中で、我々はさまざまな場面で経験を積み重ね、ウィズコロナの時代の新たな取り組みや価値観、ライフスタイルを生み出してきました。3年ぶりに村上天祭、瀬波大祭、岩船大祭の屋台行事や村上・笹川流れ国際トライアスロン大会、元旦マラソン大会も開催されるなど、市内にも活気が取り戻されつつあります。

そうした中、昨年末から市内でも感染症患者の増加が見られ、いわゆる第

8波が続いておりますが、国は、新型コロナウイルスの感染法上の位置づけを「5類」に引き下げるとしており、これまで3年にわたるコロナ禍で生活のあらゆる場面で制限を受けてまいりましたが、これらの制限が大幅に緩和されるなど、コロナ禍におけるニューノーマル時代を迎えることとなります。

本市といたしましては、市民の安全・安心を第一に考え、感染症対策と社会経済活動の両立をしっかりと支えてまいります。

令和5年度は、災害からの復旧・復興を最優先としながらも、第3次村上市総合計画を着実に実行に移していく所存でありますので、皆さまのお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

村上市長

高橋邦芳

